



ZEH(ゼッチ)マンション普及に向けた取り組み

建物外皮の断熱性能の大幅な向上と、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現(省エネ基準比20%以上)。その上で、再生可能エネルギーを導入して、年間の一次エネルギーの消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅をZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)といいます。

弊社ではマンションに広大な緑地を設けることでCO₂削減を図るとともに、省エネ給湯器など効率の高い先進住宅設備の導入などにより環境負荷低減に努めてきました。

今後は、政府によるZEHに係る2030年の政策目標を受け、弊社でもZEH-M(ゼッチ・マンション)の普及実現に向けた取り組みを加速させ、より多くの環境配慮型マンションを創造し、お客様にとってより良い住まい、地球にとっても優しい住まいを提供してまいります。

ZEH-M Oriented(ゼッチ・マンション・オリエンテッド)

エネルギーを「極力必要としない」

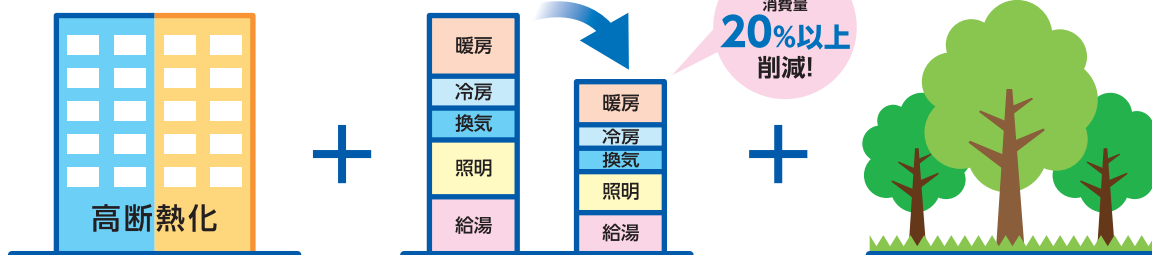
エネルギーを「上手に使う」

CO₂を削減する

断熱性の向上

高効率な
設備・システムの導入

植栽による
CO₂の吸収



《参考資料》

○経済産業省資源エネルギー庁ホームページ

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/housing/index03.html

ZEH-M orientedとは

高層(6階建以上)マンションでは、太陽光発電の設置に活用できる屋根面積が限られており、ZEHの基準をクリアすることは非常に困難です。

そこで、まずは、ZEH志向型の集合住宅の普及に向け、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の搭載などの創エネをのぞく、高断熱外皮や省エネ性能でZEH基準を満たした住宅について、2018年度よりあらたに定められた制度が「ZEH-M oriented」になります。